

平野祐也のプロフィール

38才。
各務原鷺沼育ち。
2児の父。



学歴・職歴

生年月日 1984年(昭和59年)12月生まれ

- ▼ 緑苑小学校
 - ▼ 緑陽中学校
 - ▼ 岐阜北高校
 - ▼ 名古屋大学法学部
 - ▼ 三菱商事
 - ▶ 岐阜県議会議員
- ▼ サラリーマン家庭の男3人兄弟の次男。
 - ▼ 中学・高校時代はバスケットボールに熱中。
 - ▼ 大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。
 - ▼ 三菱商事で11年間勤務し、2018年に退職。
 - ▼ ニューヨーク駐在後、東京の財務部にて資金調達/運用業務に従事。
 - ▶ 2019年4月岐阜県議会議員に初当選。現在は妻、息子、娘と鷺沼山崎町在住。

LINE友達大募集中!

とりあえずの友達登録も大歓迎です!

あなたのLINEがきっかけで
岐阜が変わるかも?
お気軽にメッセージください♪

LINE
公式アカウント



各種SNSアカウントも
お気軽にフォローください。



平野祐也事務所

住所 〒509-0136 岐阜県各務原市松が丘 2-177 TEL/FAX 058-372-2188 E-MAIL info@yuyahirano.com

各務原から
創ろう。
岐阜県の
未来を。



岐阜県議会議員
平野
タイムズ

平野祐也の岐阜
未来
タイムズ

平野祐也

ひらの ゆうや

プロフィールブック



選挙で夢を熱く語る時が
政治家の最も輝く瞬間で
あってはならない。

平野祐也 県政5年目への挑戦

平野祐也 HP



結果で勝負!

初出馬した4年前、「若くて政治経験もないのに県議なんてやれるのか?」と言われました。「政治家は選挙の時だけ頑張ってるけど、普段は何をやっているのか分からない。」という声もよく聞きました。

「本当にみんなのために仕事をしているのか?」そんな不満が政治家への不信につながっています。僕もかつてはそうでした。「じゃあ自分が政治家になって世の中を変える!」そんな決意で4年前に立候補をしました。

当選して分かったのはやはり、“政治の世界は一筋縄では進まない”ということです。それでも、「想いは届くし、変えられる。」これは間違いなくこの4年間で「確信」できました。

「政治家になりたい」という人は多くはないと思いますが、私は「これだけやり甲斐のある仕事はない」と思っています。同時に政治家になりたい人を選ぶのではなく、“政治家として何をしたか、何がしたいのか”という中身で選ばれるべきだと考えています。

夢を語ることが許されている数少ない職業である政治家だからこそ、その言葉に責任を持ち“結果”で勝負をしたい。もし共感頂けるのであれば、是非ともこの冊子の中身を見てみてください!

各務原から創ろう。岐阜県の未来を。

平野祐也



日本のど真ん中
 “岐阜”から
 日本を変える!



ひらのゆうや
平野祐也の基本政策

3本柱

産業

美濃を
 制すものは
 天下を制す

“ど真ん中”
 岐阜を
 産業拠点に

日本の中心で、「海無し県」の
 長所を活用した産業誘致

岐阜県の「ものづくりの力」を
 日本中、世界中に発信

「ぎふ宇宙プロジェクト」や
 「起業家育成」で新産業を創出

教育

教育は
 場所を
 選ばない

世界に誇る
 教育環境を
 岐阜に

日本最高の教育環境を創り
 「子育て世代」が住みたい岐阜県に

障がいや年齢に関わらず、「全ての
 人が自由に学べる」環境を創る

岐阜を日本の
 「ものづくり教育」の登竜門に

創造

規制だらけの
 現代こそ
 織田信長の発想で

現代版
 楽市楽座で
 地域を再活性化

新たに「作る」だけでなく、新たな発想で
 今有るモノや制度を「創り直す」

デジタルの力も活用し「利用者ファースト」の
 社会システムに

「新たな挑戦」を地域全体で応援する社会に
 ルールや制度の「なんで？」を
 時代に合わせて見直す

直近4年間の主な一般質問まとめ

- ぎふ宇宙プロジェクトの創設
- 森林資源の「Jクレジット制度」を活用した
カーボンニュートラル対応
- ローカル5Gの導入
- 戦略的物流拠点誘致に向けた土地活用
- 国産木材を輸入木材の代替とする為の研究支援
- 就職氷河期世代向け就業支援
- がん患者等長期療養者への就業支援
- テクノプラザの再整備



- 高校で新設された「情報」科目への対応
- 中学校の部活動の地域移行
- 各務原市に新設される特別支援学校の教員確保
- 教育現場における外国人生徒の多言語化対応
- こども宅食に対する支援制度の創設

- 空飛ぶクルマ・ドローン推進研究会創設
- 起業家支援策の充実
- 若年消防団員確保策の検討と今後の県消防操法大会のあり方
- 県有施設の民間への利用促進
- 有機農業の取り組み拡大
- 昆虫食の普及拡大
- 都市計画区域マスタープランの見直し
- ウッドショックへの対応と国産材の性能向上
- 免許更新における実施箇所の拡大
- 名古屋大学と岐阜大学の経営統合を活かした連携
- 岐阜県収入証紙の廃止
- 川島大橋早期復旧

大切なのは行動力と実績!
 4年間の政策検証詳細は次ページから!

岐阜県議会議員 数字で見る 平野祐也
 一般質問登壇回数ランキング

※令和元年第3回定例会(改選後)から令和4年第4回定例会まで(全14回)

総合 (岐阜県議会議員46人中)	第3位	各務原市選挙区 (定員3人中)	第1位
新人議員中 (1期10人中)	第1位	県政自民クラブ (32人中)	第1位

“岐阜”から未来を変える!

県政4年目の政策検証

産業編

平野祐也の
基本政策 **その1**



美濃を制すものは天下を制す!



“ど真ん中”岐阜を産業拠点に



ぎふ宇宙プロジェクトの創設

実行中 **ぎふ宇宙プロジェクトが新設! 岐阜を「宇宙県」に!**



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館展示コーナー



コロナ禍で打撃を受けた航空宇宙産業を盛り上げたいという気持ちと、世界的に成長分野である宇宙産業で日本を盛り上げたいという気持ちで岐阜県における「宇宙プロジェクト」の立ち上げを提言しました。JAXAや宇宙関連企業と地元企業を結び付けるのは勿論のこと、大学や高校、小中学校を含めた航空宇宙人材育成を行っていきたく思います。すでにプロジェクトの開始により、スタートアップからの新規受注も出てきました。今後もしっかりと岐阜県を世界に売り込んでいきます!

森林資源の「Jクレジット制度」を活用した カーボンニュートラル対応

実現 **「岐阜の山を宝の山に!」 県内各地で取り組みスタート!**

世界的に温室効果ガスの削減が求められる中、岐阜県は大チャンスです! 山林の伐採と植樹を管理して申請すると温室効果ガスの吸収源として認められ、「Jクレジット」として販売出来ます。未来の林業の財源として、待遇改善や収益向上に繋がりたいと思います。



大規模木造建築視察



林業伐採現場視察



5周年を迎える岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



県の航空宇宙産業向け新事業補助の成果物の視察



大垣市の新ボイラーの視察

ローカル5Gの導入

実現 **テクノプラザを「デジタル拠点」にすべく実証実験中!**

携帯電話の5G電波の普及が進んでいます。それを先行的に事業者が活用出来るのが「ローカル5G」であり、岐阜県として次世代産業育成の為に補助すべきと提言し、その結果、テクノプラザに導入されました。今後テクノプラザは岐阜県の「DX拠点」として再活用される方針となっております!



(株)VRテクノセンターにてローカル5Gの視察

戦略的物流拠点誘致に向けた土地活用

検討中 **ど真ん中岐阜県の地の利を活かした企業誘致を図って行きたい!**



高機能物流拠点イメージ(国土交通省資料より抜粋)

現在物流業界はドライバー不足、規制強化、宅配便の増加により合理化や効率化が求められています。そうした中で、全国的にはお洒落なカフェ空間や公園が併設され、倉庫で加工等の付加価値を付ける「高機能物流拠点」への投資が進んでいます。また高速のIC直結の物流拠点の開発も出てきています。岐阜県は日本のど真ん中であり、地理的優位性もあることから、岐阜県として現在建設中の東海環状自動車道や既存のIC付近に物流拠点の戦略的誘致を進めるべきと提言しました。これからもフォローしていきます!

平野祐也の産業に関するその他の取り組み

国産木材を輸入木材の代替とする為の研究支援

就職氷河期世代向け就業支援

がん患者等長期療養者への就業支援

テクノプラザの再整備

「産業」に関する
平野祐也の県政報告



平野祐也

県政4年目の政策検証

産業編

“岐阜”から未来を変える!

県政4年目の政策検証

教育 編

平野祐也の
基本政策 **その2**

教育は場所を選ばない!

世界に誇る教育環境を岐阜に



高校で新設された「情報」科目への対応

実行中 県内でプログラミング教材のマイコンボード2880台を導入!



岐阜各務野高校における「AIチャレンジ」の授業風景

今年から高校で新設された「情報」科目は、今の高校1年生から大学受験科目に追加されます。それに伴い、学校現場の教員数や指導内容を整備すべきと提言しました。今年度中に県立高校にプログラミング教材を配布すると共に、教員研修会も継続的に開催して行きます。情報科目の教員確保を図り、県の教育内容を充実させて行きます。

中学校の部活動の地域移行

実行中 今年度中に岐阜県のガイドラインを決定!



中学校バスケットボール大会の様子

中学教員の働き方改革を受け、来年度以降、中学校の土日の部活動の地域移行が決定しているのにも関わらず、県としての方針が市町村や競技団体に伝わっていない点を指摘しました。地域や競技によって大きく地域移行のカタチが異なる状況も想定され、今後も継続的にフォローして行きます。

I. 休日の部活動の段階的な地域移行

(令和5年度以降、段階的に実施)

- 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保 (育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用)
- 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- 拠点校(地域)における実践研究の推進とその成果の全国展開

具体的な方策

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市、過疎地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進
- 主に地方大会の在り方の整理(実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等)

スポーツ庁HP「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」より引用

各務原市に新設される特別支援学校の教員確保

実現 令和7年度に悲願の特別支援学校が開校予定!

各務原市に特別支援学校高等部はありますが、小中等部はありません。その結果、小中等部の生徒は関市や羽島市の特別支援学校にスクールバスで1時間程度かけて通っています。保護者の切実な声と市の要望を県に届けた結果、令和7年度に小中等部が鶴沼中学校南側に開校予定です。新設にあたってハードルである教員確保について、県として計画的な採用と、特別支援学校教員免許の保有率向上を約束して頂きました。開校に向けてしっかりとフォローして行きます。



外観イメージ



各務原市新特別支援学校建設かわら版より引用



特別支援学校建設 HP

こども宅食に対する支援制度の創設

実現 全国ではじめて都道府県として支援制度を導入!

コロナ禍でこども食堂が活動を制限される中、生活に困っている方に直接生活用品を配るこども宅食が注目されました。そうした状況下で、全国で初めて都道府県としてこども宅食への支援を提言しました。こうした流れが現在に至るフードバンクへの支援策にも繋がりました。引き続きこどもの笑顔を守って行きたいと思えます。



こども宅食に取り組むNPO法人の視察

平野祐也の教育に関するその他の取り組み

教育現場における外国籍生徒の多言語化対応



市内のこども宅食の様子



市内中学校における職業講話



母校岐阜北高校の情報授業の視察

「教育」に関する
平野祐也の県政報告



平野祐也

県政4年目の政策検証

教育編

“岐阜”から未来を変える!

県政4年目の政策検証

創造 編

平野祐也の
基本政策 **その3**



規制だらけの現代こそ、
織田信長の発想で!



現代版楽市楽座で地域を再活性化



空飛ぶクルマ・ドローン推進研究会創設

実行中 **令和5年より強力に推進することが決定!**

産業用ドローンや空飛ぶクルマは夢の世界ではなく、実用化に向けた動きがどんどん進んでいます。今後実用化されるにあたっては、各務原の航空宇宙産業が力を発揮出来る分野が必ずあります。岐阜県として実証実験や空飛ぶクルマ・ドローンの開発製造を支援すべきと提言しました! 「空」に関わるモノは全て岐阜県と言われる様な産業創造を目指します!



テクノプラザにおけるドローンの実証実験視察

有機農業の取り組み拡大

実行中 **岐阜県農業の収益性アップに向けて取り組み開始!**

有機農業は手間が掛かり、収穫量も安定しないということから、農家からは敬遠されてきましたが、世界的に見ると需要が増加しています。また単価が高いことから、農家の収益向上にも寄与する可能性を秘めています。岐阜県は



高山市で有機農業に取り組む山蔵農園さんへ視察

農家あたりの耕作地面積が「全国最小」という厳しい条件があり、収益向上の為に「ブランド化」や「高付加価値化」は必須だと考えています。そこで岐阜県農業の発展の為に、有機農業等を取り入れた収益性向上が必要であると提言しました。現在県として「有機農業推進計画」を策定中であり、岐阜県として有機農業を推進します。引き続きフォローして行きます。



関東で展開されている有機野菜専門のスーパー

若年消防団員確保策の検討と今後の県消防操法大会のあり方

実行中 **消防団員向けアンケートや高校生向けPRでより良い消防団に!**

消防団は大規模災害への対応や防災力向上の為に必要であることは明白です。一方で消防団員は減り続けています。その理由として「操法大会の練習」が挙げられます。近年、「操法廃止」が全国的にニュースにもなっています。そうした声が出ている中で、「操法県大会の今後のあり方」について質問しました。今後も時代にあった消防団の姿を模索して行きます。



操法大会にて一番員として出場する平野祐也

県有施設の民間への利用促進

実現 **県でワンストップ窓口を開設し、皆さんのアイデアを大募集中です!**



県営各務原公園のキッチンカーの様子

コロナ禍で「キッチンカー」を見かける機会が増えたと思います。しかし道路や役所の敷地、公園等、公共空間は民間利用が制限され、管轄部署によっても方針が違い、申請も個別対応でした。こうした状況を打開して、民間の知恵を活かした公共空間の活用について提言しました。公共空間利用については、11月に木曾川河川敷を活用するイベントが始まる等、引き続きオモシロイ街にする為のアイデアを募集しています!

平野祐也の創造に関するその他の取り組み

川島大橋早期復旧 都市計画区域マスタープランの見直し

ウッドショックへの対応と国産材の性能向上

免許更新における実施箇所の拡大 昆虫食の普及拡大

名古屋大学と岐阜大学の経営統合を活かした連携

岐阜県収入証紙の廃止 起業家支援策の充実



早期復旧を目指す川島大橋



岐阜市にある昆虫食自動販売機

「創造」に関する
平野祐也の県政報告



平野祐也

県政4年目の政策検証

創造編